

市内30公園 自販機併設型の防犯カメラ設置!

浦和区は3公園 来年度以降も順次増設へ

さいたま市は市内の公園30カ所に自動販売機に併設する防犯カメラを設置中です。浦和区内では3カ所に設置、来年度以降も順次設けられる予定です。

公明党さいたま市議団は6月定例会で維持管理費のかからない自販機併設型防犯カメラの設置を提案。浦和区内では大げやき公園(上木崎)、常盤公園、調(つ



きのみや)公園の3ヶ所に設置され、来年度以降も順次設置される予定です。早速、設置された大げやき公園を訪れました。周辺には多くの子育て世帯が居住しています。若いご夫婦は「安心して子どもを公園で遊ばせられる」と喜んでいました。



北浦和駅に **待望の!**
ホームドアが12月7日
いよいよ完成!

公明党さいたま市議団として、一貫して取り組んできた「北浦和駅ホームドア」が、いよいよ設置されます!(12/7予定)住みやすいまち、人に優しいまちへ、さらに一歩前進しました。

ご意見・ご要望はやなかり人へ

公明党 さいたま市議会議員(浦和区)
やなかり 信人
Yanaka Nobuto

所属委員会
○文教委員会
○予算委員会
○地下鉄7号線延伸事業特別委員会

事務所 〒330-0044
さいたま市浦和区瀬ヶ崎1-4-1
FAX 048-611-9102
MAIL yanaka.nobuto@yanaka.saitama.jp



さらに輝く
「スポーツ芸術都市」へ

YANAKA JOURNAL

やなかり 信人 ジャーナル 2019 冬号

さいたま市をさらに輝く「スポーツ芸術都市」へ!

さいたま市議会9月定例会でのやなかり 信人の論戦を報告します!



「災害に強い都市」へ 防災・減災対策を加速化!

10/13 台風19号による浸水被害相次ぐ



10月13日に上陸した超大型の台風19号の影響で、さいたま市内でも床上・床下浸水の被害が発生。私は、大原・木崎・瀬ヶ崎などの被災現場や避難所に駆け付け、被害調査、住民要望の聞き取りに奔走しました。

10/14,15 清水さいたま市長に「緊急要望」

私たち公明党さいたま市議会議員団は翌14日、被災者の声を「台風19号に関する緊急要望書」としてまとめ、15日には早速、清水勇人さいたま市長に要望書を手渡しました。



要望書では、①避難所となる学校体育館の総点検、②今回の被害への早急な対応、③

情報が避難所や市民の皆さまに速やかに届くような措置——など11項目を提言。一日も早い復旧・復興を求めました。

10/18 来年度予算要望でも対策強化迫る



18日に再び清水市長を訪ね、来年度予算要望も行いました。特に、防災・減災対策では、①「大規模災害団員」創設による発災時のマンパワー確保、②災害時の電力確保策の強化、③防災アプリ導入、④ペットが同伴可能な避難施設の整備——など20項目を提言し、「災害に強い都市」をつくるため市の施策に反映するよう強く要請しました。

防災力アップ↑①

公明市議団「ごみ発電など公共施設に活用すべき」

さいたま市「電力の地産地消の検討を進める」

大災害に備えエネルギーの地産地消は急務です。公明市議団は、ごみ発電や家庭用太陽光発電の買い取り期間終了(卒FIT)後の電力を公共施設で活用すべきと主張。市長は両電力を有効活用し、本市がめざすべき「電力の地産地消」の検討を進めると述べました。

防災力アップ↑②

公明市議団「災害時の避難対応に女性の視点を!」

さいたま市「避難場所の確保、液体ミルク検討」

災害時、避難者の生活環境整備や食料の確保が不可欠。公明市議団は女性の視点に立った災害用物資備蓄の強化など避難対応をたどしました。市防災課長は間仕切りの難しい体育館以外の避難場所の確保や、乳児に必要な液体ミルクの備蓄を検討中と答弁しました。

輝く「スポーツ芸術都市・浦和」へ活発論戦!

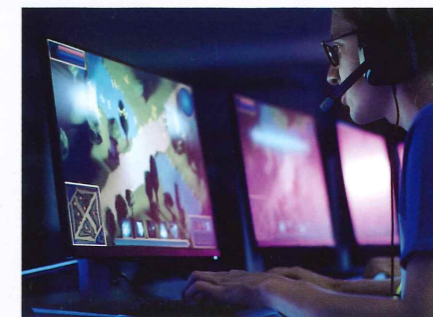
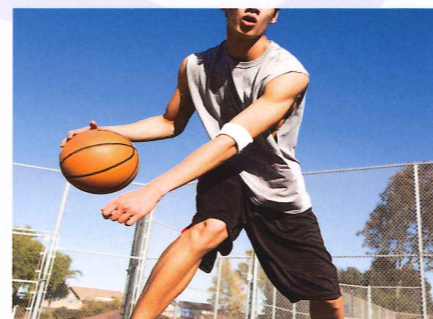
POINT 1

やなか信人「都市型スポーツの普及を!」

さいたま市「子どもが触れる機会創出」

浦和は「エースをねえ!」など多くの漫画の舞台となったスポーツの街です。いよいよ、若者に人気のスケボーやBMX、バスケのスリー・バイ・スリーといった都市型スポーツも2020年東京五輪・パラリンピックの正式種目となります。そこで、私は若者が都市型スポーツにさらに親しめるよう市の取り組みをたどしました。

市スポーツ部長は、競技の普及へ競技団体と協議を進め、「子どもが多様なスポーツに触れる機会を創出できるよう推進中」と答弁しました。



POINT 2

やなか信人「eスポーツで高齢者も元気に!」

さいたま市「民間活力生かし施策を展開へ」

最近、サッカーをはじめコンピュータの対戦型ゲームを競技として楽しむ「eスポーツ」が注目されています。私は「ポケモンGO」が外出を促すことに触れ、こうした新たな手法がお年寄りの外出の健康面に資すると指摘。高齢者も参加できるeスポーツの取り組みを尋ねました。

市スポーツ部長は、高齢者の外出促進の取り組みが国レベルでも評価されているとの見解を示し、「民間活力を最大限に活用し、施策展開を検討する」と述べました。

POINT 3

やなか信人「ストリートピアノの整備を!」

さいたま市「若者の育成の場提供へ検討」

「市内でストリートパフォーマンス(路上演奏)できる場所がありますか?」。私は、ある音楽姉妹から寄せられた声を市に届けました。ピアノが設置されている所でいつでも弾ける「ストリートピアノ」を例示し、市民が日常的に文化芸術に親しめる環境整備の必要性を主張。文化芸術都市創造に向けた今後の取り組みを聞きました。

市文化部長は、若者の育成の場提供の観点から、文化芸術都市創造計画次期計画に向けた協議体と連携しながら検討していく意向を示しました。

